

予防安全性能アセスメント試験結果の公表について（案）

1. 公表方法

予防安全性能アセスメント試験結果は、アセスメント試験結果発表会、パンフレットへの記載及びホームページへの掲載等により行う。

2. 公表方針

- ・ 予防安全装置を普及させることを目的とし、性能差は強調しない。
- ・ 使用者の過信防止のため、各装置の性能特性についても注意喚起する。
- ・ シンプルな公表とし、詳細はホームページに掲載する。

3. 使用するロゴマーク

予防安全性能アセスメントのパンフレットには、総合評価に応じてロゴマークを表記する。

なお、ロゴマークは右のデザインを基本にメディアワーキンググループにおいてさらに検討する。

- (1) 安全を印象付ける卵形とした。
- (2) 名称はシンプルに「先進安全車」とした。ただし、英語表記では「AWARD」を記載することとした
- (3) 中央の車は JNCAP 5★賞のロゴと整合させた。
- (4) 車両下部の円は全方位の安全をイメージした。
- (5) しきい値(12点)を超えた場合は、ASV に+が追記される。
- (6) 毎年、総合点が変更となることから評価年を記載する。
- (7) カタログ等に使用する場合は、必要に応じて「JNCAP 推奨グレード有」の表記を行う。



【ロゴマーク】

4. 初回公表におけるパンフレット内容

平成26年10月末を目途に公表を予定している初回の評価結果の公表では、予防安全性能評価の周知の観点から以下の内容にてパンフレットを作成することとしたい。

なお、平成26年度予防安全性能アセスメント結果の公表については、今後、後期選定車種も含めて検討するが、発表内容に対するメディア、ユーザー等の意見も反映し随時内容を充実を図ることとしたい。

- (1) パンフレットは、A4、4つ折りとする。
- (2) パンフレットの掲載内容は次の5項目とする。
 - ① 予防安全性能アセスメントの概要
 - ② 評価結果の見方
 - ③ 評価結果
 - ④ 装置の解説（AEBS、LDWS）
 - ⑤ 各装置の特徴及びユーザーに対する注意事項
- (3) 評価結果の掲載内容は次の4項目とする。
 - ① 試験車両の外観写真
 - ② 通称名、グレード、排気量
 - ③ 評価結果
 - ④ 評価対象装置の検出装置の種類、作動領域等の概要